

第9回奄美保健医療圏地域医療構想調整会議 概要

日 時：令和4年3月2日（水）18:45～21:14

場 所：大島支庁4階大会議室

出席者：24名（代理出席3名含む）、欠席者2名

傍聴者：13名（随行者10名、傍聴者1名、記者2名）

※質疑、意見等は抜粋

1 開 会

2 地域医療構想調整会議議長あいさつ

3 報告 専門部会の実施状況等について

4 協 議

(1) その他の医療機関が行う2025年に向けた対応方針について

＊その他の医療機関：公的医療機関等2025プラン対象医療機関以外の医療機関

ア 喜界徳洲会病院

新築移転に伴い、喜界町と協議の上、介護療養病床を医療療養病床に転換するとともに喜界国保診療所の一般病床を移床して慢性期病床を10床増床する計画

（感染症や救急患者等の対応を含めて島内完結型の医療を目指すため必要であると考えられること、喜界町からの要望があること、町や島内各事業所等との連携がすでに整っていることを鑑み、専門部会にて了承されている。）

〈結果〉 合意

(2) 合意済対応方針を見直す医療機関の計画について

ア 沖永良部徳洲会病院

介護療養病床を医療療養病床に転換しようとする計画

（現在の介護療養病床利用者について処遇が適切に検討されていること、島内2町や地元医師会等との情報共有や協議がなされていること等を踏まえ、専門部会にて計画変更への了承が得られている。）

〈結果〉 合意

イ 徳之島徳洲会病院

新築移転に伴い、高度急性期病床8床の新設と回復期病床41床増床を含め、51床増床する計画

〈結果〉

感染症や災害、救急患者等の対応を含めて島内完結型の医療を目指すためには、増床が必要という意見がある一方で、徳之島島内での医療機能分化・連携について議論を深める、合意を得るべきという意見もあり、島内完結型医療に必要な医療の質や量について検討するため協議継続となる。

(3) 休棟中病床の再稼働及び病床機能を転換しようとする医療機関の計画について

ア 県立大島病院

51床の休棟中病床を回復期リハビリテーション病棟37床に転換する計画

〈結果〉

公的医療機関でなければ担えない分野であるのか、他に担うべき役割がないのか等の観点から賛成する意見と再考を求める意見があった。また、県立病院の計画変更は地域に与える影響が非常に大きいため、県立病院全体の組織としての考え、くらし保健福祉部としての考えを聞きたいという意見があり、本庁の考えを確認した上で、改めて協議していくこととなる。

5 閉会